

競技注意事項

1 本大会は2021年度(一財)愛知陸上競技協会「小学生友の会ルール」で行う。

2 アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) プログラム記載のものをユニホームの胸、背に確実につける。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を必ず競技者係から受け取る。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。リレーは、第4走者(アンカー)がつける。フィニッシュ後、直ちに回収係に返却する。

3 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 欠場者のレーンはあける。

4 招集について

- (1) 招集所は、競技場入退場門後方に設ける。
- (2) 招集の受付は本人(代理人は認めない)が行い、時間に遅れた者は出場を認めない。招集指導は指導者の引率で行う。リレーは4人が揃って招集を受ける。
- (3) 最初に出場する種目時間に出場する全種目の招集を行う。
- (4) リレーオーダー用紙は、6年混合リレーは7時45分までに団体受付へ提出する。5年及び4年混合リレーは招集完了時間1時間前までに招集所へ提出する。オーダー用紙は団体受付に用意する。
- (5) 選手の誘導は各団体の引率者が行う。

5 競技について(友の会ルール)

- (1) スパイクシューズの使用はできるが、裸足での競技は禁止する。
- (2) スタートの方法は、クラウチングスタートとする(スターティングブロックを使用しなくてもよい)。同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。失格となった場合は、本人の申し出があればオープン参加とし走ることが可能だが記録はない。スタートコールは、イングリッシュコール。「On your marks」「Set」
- (3) 混合リレーのオーダーは、男女各2名で編成し、走順は自由とする。

(4) 80mハードルの規格

	台数	高さ	スタート～第1ハードル	ハードル間	最終ハードル～フィニッシュ
5・6年生	9台	0.70m	13m	7m	11m
4年生	9台	0.60m	13m	7m	11m

- (4) フィールド種目の競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。
- (5) ジャベリックボール投げは、規定の投げ方(にぎり持ち)で、助走距離は15m以内、試技は1人3回とし、すべて計測する。
- (6) 走幅跳の試技は1人3回とし、すべて計測する。
- (7) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。3回連続失敗した時点で終了とする。バーの上げ方は、下記のとおりとする。

学年	練習	1	2	3	4	5	
4年生	80cm	85cm	90cm	95cm	1m00	1m05	以後5cm
5年生	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後5cm
6年生	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後5cm

- (8) 本大会において、県小学生陸上競技選手権大会(11月3日)の参加記録を突破した者は、大会への参加資格を得られる。参加を希望する場合は、愛知陸協のホームページを参照し、参加申し込みをすること。

6 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具(スターティングブロック・バトン・ハードル)は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) ジャベボール(ニシスポーツ NT5201)は出場者一人につき1個持参し使用する。他競技者とは共用しない。
- (3) リレー・跳躍・投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。フィールド種目のマークは2個まで使用できる。

7 団体受付について

- (1) 団体受付は、選手出入口(ゴール後方)に設ける。
- (2) 各団体の待機場所を団体受付へ報告する。
- (3) 大会中の落とし物は団体受付で対応する。

8 競技場内の入退場について

- (1) 選手と引率者(大人・選手10名につき1名で最大は4名とする。)がスタンド(バックスタンド含む)に入場できる。引率者の交代は認めない。
- (2) 最初の入場時に、検温・体調管理シートの確認を行う。リストバンドを付ける。
- (3) 再入場については、団体受付役員へ申し出て行う。
- (4) 入場の際はマスクを着用すること。
- (5) 競技が終了した選手・引率者は速やかに帰宅すること。

9 その他

- (1) トラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分のレーン(曲走路)を走り、減速し止まる。
- (2) リレーの第1・第2・第3の各走者は、バトンを渡した後も他のレーン(チーム)の走者が、全員通過し競技役員の指示があるまで自分のレーンにとどまること。他のチームの妨害にならないよう注意する。
- (3) プログラムの氏名・所属等の間違いがあれば、チームの責任者が団体受付時に申し出る。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (5) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。盗難に注意すること。

8 感染症対策

- (1) 本大会に参加する選手は、主催者の定める新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシートにて、体調チェックを行い、その用紙を大会当日最初に競技場入場する際に提出しなければならない。保管期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに当陸協が責任をもって廃棄する。また、大会終了後2週間の体調チェックを行い、感染が疑われる症状がある場合には、小学生友の会西三河担当者のメールアドレスまで早急に知らせ、保健所の指示に従うこと。
- (2) 日本陸上競技連盟の示した、感染リスクを軽減させた競技会の運営について(2020年6月11日公開)の運営方針に従い運営します。手洗いや消毒、選手の動線など主催者の指示に従い、競技会に参加すること。
- (3) 競技場への来場は原則、保護者の送迎とする。また、競技終了後速やかに帰宅すること。

- (4) 無観客で実施する。保護者の観覧は認めない。また、競技に出場しない者は会場に来場しないこと。
- (5) 競技場への入場時刻は、招集開始時刻とする。
- (6) 競技場内はマスク着用とする。但し、選手は競技中またはウォーミングアップ中は状況に応じて外しても構わない。
- (7) 競技場内でのウォーミングアップについては、リレー種目出場のメンバーのみ、招集を受け後、バックストレートを利用して行うことができる。指導者が付き添い事故等の起こらない様に行う。
- (8) 各団体の待機場所も含め、三密を避けるように工夫をすること。声を出しての応援は禁止する。また、子供達が遊び回ったり騒ぐことのない様に指導する。
- (9) ゴミは必ず持ち帰ること。競技場に設置してあるゴミ箱は封鎖する。
- (10) 各団体は消毒液を準備し、適宜選手の消毒に努めること。
- (11) 主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。